

## 保育のヒント～「科学する心」を育てる～

### 「科学する心」を捉えるⅢ／墨田区立柳島幼稚園（東京都）

子どもたちに育まれる「科学する心」について、どのような子どもの姿や保育をイメージされますか？

今回ご紹介する園では、園の環境や保育の特徴と「科学する心」を結び付けて「科学する心の構造」を示して園内で共有を図り、実践しています。焦点を当てて実践したことにより、「科学する心を育てる」ために必要な子どもの体験を捉えることに繋がりました。



### ● 「科学する心」を捉える～シャボン玉大好き！～／4歳児

#### ✦ 「科学する心」の捉え

本園の子どもたちの姿を基に、「科学する心」についての考えを共有した。

幼児は身の周りの環境と関わり、ものと出合って、様々に心を動かしている。園の自然環境と関わる幼児の姿を見つめていく中で、自ら体験を積み重ねている時に繰り返される幼児の心の動きや行動を、私たちは、「気付く」「感じる」「考える」「伝え合う」というキーワードで捉えることとした。「気付く」「感じる」「考える」「伝え合う」プロセスは、何度も繰り返され深まっていき、幼児の体験を充実させたり、心を豊かにしたりしていく。何度も繰り返されるこの心の動きそのものを、「科学する心」が育っていくことであると私たちは考える。

また、幼児がいろいろな物と出会う機会をつくるとともに、幼児が何に心を動かしているのか、その時にどのようなことを学んでいるのか捉える。そして、心の動き・行動に保育者も「気付き」、寄り添い、一緒に心を動かしていくことが、「科学する心の育成」にとって重要であると考えます。



#### ✦ [ものとの出会い] 事例 シャボン玉大好き！／2年保育4歳児（6月）

大好きなシャボン玉遊びを繰り返していたある日のこと。「さあ、今日も遊ぶぞ」と園庭に出ようとしたところに雨が降ってきてしまった。「仕方がない、今日はテラス（屋根の下）でシャボン玉をすることにしよう」と遊び始めた。子どもたちは、今までの遊びでは経験しなかったたくさんのおもしろいことに出合った。

##### 幼児の心の動き・行動

- 地面に落ちたのに割れないシャボン玉が不思議。 **気付く・感じる**

##### 教師の援助

- 「雨だから今日はやめよう」と言わず、雨で濡れた場所でシャボン玉遊びができるようにする。



シャボン玉遊びをしながら、気が付いたことを言葉にする。傍の友達に気が付いたことを笑顔で伝える姿がある。

#### 幼児の心の動き・行動

- どうして金網にも付くのかな？  
気付く・感じる・考える
- 葉っぱにも付いた。でも、いつもは付かなかったような気がするけど…？  
気付く・感じる・考える
- おもしろいことを見つけたから知らせたい。  
伝え合う



この日、自分のしたいことを楽しんだり、友達のしていることを見たりする中で、子どもたちは、「濡れている所にくっ付いたシャボン玉は割れない」ということが何となく分かってくる。実体験を通して得た知識から、更に、「本当にそうかな？」「こうなるかもしれない」と予測し、それを確かめるように、何度も繰り返しシャボン玉を吹いて遊んでいた。

#### 教師の援助

- 「それぞれの幼児が興味をもったことを繰り返す姿を見守り、一緒に驚いたり、発見を楽しんだりする。

#### 幼児の心の動き・行動

- もしかしたら水のあるところだと割れないのかな？  
気付く・感じる・考える
- たくさん集められるかも！一緒にやってみよう。  
気付く・感じる・考える・伝え合う



また別の日の、雨上がりの午後。「シャボン玉で遊べる？」「雨が降ったから、水溜りでこの前の『あれ』やろうよ」と、園庭に出ていく数人の幼児。さっそく大きな水溜りの前にしゃがみこむと、「やっぱりまたできた」「いっぱい作っちゃおう」と大喜びで遊んでいた。

また、地面に吹いた泡をストローでこすって白い泡にし、集めることを楽しむ幼児や、慎重に吹いて大きさを揃え、一列に並べていく幼児など、それぞれがしたいことに没頭している姿が見られた。

#### 幼児の心の動き・行動

- この前と同じことができた！思った通りで嬉しい。  
感じる・考える
- 水溜りにシャボン玉を集められることを知っている友達がいて嬉しい。  
感じる・考える・伝え合う
- いろいろな遊び方を見つけた。何回でもやってみたい。  
気付く・感じる・考える



## ✦ 考察

---

- 雨の日にシャボン玉遊びができるようにしたことで、幼児がたくさん不思議なことに出会うきっかけとなった。
- 幼児は遊びを繰り返す中で、はっきりと言葉にはしないが、「濡れた場所にできたシャボン玉は割れない」ということに気付きはじめていた。自分なりの予測や確かめ方を繰り返す過程を見守ったことで、幼児が自ら納得したり、知識を獲得したりすることにつながっていったと思われる。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム  
幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」